

# 先生との距離が近くわきあがりあがりとした研究室です

お口、  
大切にしていますか？

歯みがきの宣伝ではありませんが、お口のケアは健康のためにも大切なことです。お口のケアが十分でないこと、生活習慣病であるむし歯や歯周病を引き起こしてしまいます。最近では、歯周病が糖尿病や心疾患の一因となるこの報告もあります。そして日本人のほとんどが何らかの口腔疾患を持っているのです。

「歯周病の主な原因は歯周病菌です。日本人にはよく歯みがきをする習慣があるにもかかわらず、ほとんどの人が歯周病か歯周病になる要素を持っています。抜歯の原因も、半分が歯周病であるといわれています。歯周病予防のためには歯みがきだけでなく、定期的に歯医者さんで歯垢や歯石を除去してもらうことが効果的です。」

とアドバイスする横山正明さん。所属する予防歯学分野の研究室では口腔疾患、中でも歯周病の発症や進行に関する分子生物学的メカニズムに興味を持って研究を進めています。

## 生まれてくる 子供たちのために

妊娠期の女性では、ホルモン量の変化に加え、環境や心理的な変化などから、お口の中の状態が悪くなる場合があります。このような場合に歯周病は進行しやすくなります。そして、これが低体重児早産に関連するともいわれています。

近年では、産科婦人科と連携することにより、妊婦の方が歯科・予防歯科に来院することが多くなったそうです。

こうしたことをきっかけに横山さんは現在、妊娠期の歯周病の発症や進行について、さらに研究を進めています。新しい予防法の開発のために、歯周病菌や歯周細胞の培養に明け暮れる毎日です。

「妊婦の方々に口腔の健康を保持、増進させるよう、正しい予防法を習得し



ていただきながら、もうすぐ生まれてこようとする子供たちにも、生後よりただちに適切な予防法が教育、実践されることにより、少しでも口腔疾患の減少に貢献していきたいです。」

## 学生としても 学び続ける

横山さんは、昼間は診療室で学部学生を指導する教員兼歯科医師。夜間は大学院生として研究室で試験管やシャーレを使って実験を行って

います。

「生まれは大阪なんですけど、徳島は水や空気がおいしくて、とても暮らしやすいです。」

岡山大学歯学部を卒業し、歯科研修医を経て、徳島へ来て6年。昼夜にわたって多忙な毎日です。

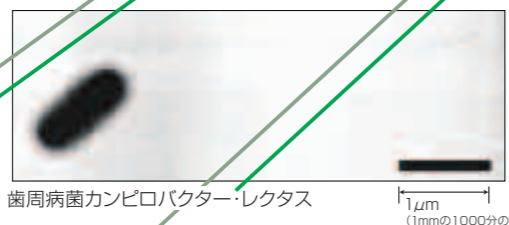
研究員は現在10名、少数ですがまとまりのある研究室です。

「優しい先生ばかりで、人数が少ない分いそがしいですが、先生がとも身近です。研究のことだけでなく、プライベートなことも相談してアドバイスしてもらえます。」

と、横山さん。指導教員の日野出先生は、

「アットホームな雰囲気大切にしてくわきあがりあがりしています。」と教育、臨床、研究に取り組んでいます。

# masaki



歯周病菌カンピロバクター・レクタス 1μm (1mmの1000分の1)



# yokoyama